

令和3年度 えびの市立真幸小学校 学校評価

(4段階評価 とてもそう思う 4・3・2・1 思わない)

	重点指導事項	自己評価			教職員・学校運営協議会の意見・改善等	学校運営協議会の評価
		児童	保護者	教職員		
I 学力向上	<p>1【確かな学力の向上に向けた指導体制や指導方法の確立】 児：学校での勉強は分かりやすい。自分から進んで学習しているか。 保：お子さんは、学習内容を理解し漢字や計算の力を身に付けているか。 教：分かる授業のために、教材研究や学習指導方法の研究に努めているか。 真幸タイムの活用・個別指導による学力の定着</p>	3.4	3.3	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・指導方法の工夫改善により、子どもたちがよく考え、友だちと学び合う学習スタイルが身に付いてきている。今年度はクラスの枠を超え、合同で学習する時間を設定したことで、きめ細かな指導につながった。 ・授業中の習熟の時間や真幸タイム等を活用して、今後も個別指導の充実を図っていく。 ・各種学力調査の結果を分析し、子どもの学力についての課題に対して具体的な手立てを講じていく。 ・1人1台端末の導入により、児童一人一人がタブレット等のICT機器を使った学習ができるようになった。児童に確かな学力を身に付けるための効果的な活用について、今後も職員全体で研修をしていく。 	3.7
	<p>2【家庭学習の習慣化】 児：毎日、家庭学習に取り組んでいるか。 保：お子さんは、進んで取り組む態度が身に付いてきているか。 宿題の内容は適切であるか。 教：家庭学習の指導、保護者への協力の呼びかけをしているか。</p>	3.5	3.2	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の習慣が身についている児童が多く、自己評価が高い。しかし、宿題量を負担に思っている児童もいるので、個に応じた配慮をしていく必要がある。555 ・保護者も家庭学習の呼びかけをよくしてくださっている。 	
	<p>3【読書活動の推進】 児：学級文庫や図書室の本を借りたり読んだりしているか。 保：お子さんは、読書の習慣が身に付いてきているか。 教：家庭での読書を推奨しているか。</p>	2.9	2.3	2.5	<ul style="list-style-type: none"> ・学校では、学級文庫を置いたり、国語教材文の関連図書を紹介したり、季節に合った本を紹介したりと、児童が本に触れる機会を設けている。図書館利用は個人差があるので、これからも本を借りるよう呼びかけするなど、読書活動の一層の推進を図る必要がある。本の寄贈があり、児童が好きな本が増えた。読書環境の向上に協力していただきありがたい。 	2.9
				<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会委員から ・始業前の読書の時間を設けてはどうか。 ・予算を伴いますが、図書の定期的な購入、更新を。またスクールサポートスタッフを活用して、入室しやすい図書室作りをお願いします。 ・本を読むことは大事なことだと思う。宿題等に感想文を出してはどうか。 ・市立図書館利用はバス利用か保護者の協力が重要となるので、学級文庫を充実させて、毎月の目標1冊読むなどあるといいと思います。 		

II 心の教育・生徒指導の充実	<p>4【望ましい人間関係】</p> <p>児：学校は楽しい。相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動ができているか。</p> <p>保：相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動ができているか。</p> <p>教：相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動ができるよう指導しているか。</p>	3.5	3.2	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育や他を思いやる心の育成については、学級での常時指導のほか、人権週間では参観授業を行う等、全校での取組も行っている。子どもたちへの毎月の悩みアンケートの実施、アンケート後の相談タイムも確保し、今後も子どもたちと対話することに努めていく。 <p>学校運営協議会委員から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が相談できるのはよいことだと思う。 ・アンケート後の祖横断タイムや子どもたちとの対話に努めておられることが児童評価につながっていると思います。 	3.5
	<p>5【規範意識】</p> <p>児：学校や地域のきまりを守って生活しているか。</p> <p>保：お子さんは、学校や社会のきまりを守って生活できているか。</p> <p>教：学校や社会のきまりを守って生活できるように指導しているか。</p>	3.6	3.4	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のきまりについて共通理解を図り、学校で一貫した指導を行うことに努めた。何か起こった時には情報を共有し、組織的に対応してきた。子どもたちは落ち着いて生活している。 <p>学校運営協議会委員から</p>	3.5
	<p>6【あいさつ】</p> <p>児：毎日、自分から気持ちのよいあいさつをしているか。</p> <p>保：お子さんは家や学校・地域で進んであいさつができているか。</p> <p>教：気持ちのよいあいさつができるように指導しているか。</p>	3.4	3.3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会、保健給食委員会など、高学年の子どもたちの活躍により、あいさつ運動がさらに充実していた。 ・横断歩道を渡った後の礼は、真幸小学校の伝統なのだと思う。お褒め頂きありがたい。 <p>学校運営協議会委員から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会も定期的に立ち当番をさせていただいている。児童の皆さんの挨拶がとてもよい。 ・校門近くではとてもよいと思うが、少し離れると挨拶できない割合が上がるように思える。 	3.5
	<p>7【健康な生活習慣】(手洗い、うがい、歯磨き、むし歯の治療、1km徒歩登校)</p> <p>児：毎日、手洗いやうがい、歯磨き、1km徒歩登校ができているか。</p> <p>保：お子さんは健康な生活習慣を身に付けているか。徒歩登校ができているか。</p> <p>教：自分の健康を守る指導、徒歩登校を指導しているか。</p>	3.6	3.3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがいは、習慣化するまでに時間がかかるので、根気強く呼びかけていく。本年度う歯治療率80%。継続して呼びかけを行っていく。 ・1km徒歩登校について、放送委員会による定期的な呼びかけを行う。また徒歩登校カレンダーを継続していく。 <p>学校運営協議会委員から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨の日に歩いてくる児童が増えたと思う。大変よいことだと思う。 ・むし歯の治療率に関しては、保護者の協力が絶対だと考えられるので、個別に歯の大切さを啓発して治療につなげてほしいです。 	3.5

Ⅲ 連携 の 推 進	8【家庭との連携・情報発信①】 保：学校からのお便りやホームページで、保護者や地域の方に、学校の様子や教育方針などを分かりやすく伝えているか。 教：保護者や地域の方に、学校の様子や教育方針などを分かりやすく伝えているか。	3.4	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の諸行事ごとに、学校ホームページで学校の様子を伝えたり、月1回の学校だよりを発行したりして情報発信に努めた。閲覧してもらえるようにお知らせをする。 ・学級通信を定期的に発行し、学校の様子、子どもたちの様子を発信している。 	3.7			
				<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会委員から ・緊急連絡で、雷雨などの迎え連絡があるが、これないところはどのようにしているのか。 ・学校ホームページを閲覧し、学校の様子がよくわかりました。 ・回覧板でも学校便りを見ました。学校の様子がわかりよかったです。 ・子どもが親に通信を見せていなくても、ホームページで情報発信されているのでいいと思います。 				
	9【家庭との連携・情報発信②】 保：学校はお子さんのことについての連絡や話し合いを積極的に行っているか。 教：学校は子どものことについての連絡や話し合いを積極的に行っているか。			3.3		3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭への連絡が必要な場合は、連絡帳や電話連絡により家庭との連携を図る。 ・家庭からの連絡や相談等について、担任だけでは対応できない場合は管理職に報告・相談し、組織的な対応をとるようにしている。 	3.5
						<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会委員から ・先生方全員で話し合い、意見をもらうことは、他の先生方の成長にもなるのでよい。 		
	10【行事・参観日】 保：学校の行事、学校参観日の回数や内容は適切であるか。 教：学校の行事や参観日は、保護者の参加を考慮して計画しているか。			3.4		3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は感染防止のため、9月と3月の参観日は中止となった。学校での児童の様子や担任の指導方針を直接伝えられなかったため、懇談資料を家庭に配付したり学校ホームページや学級通信等で伝えたりするようにした。 ・コロナ対策を講じた参観日の在り方を今後も検討していく。 	3.5
		<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会委員から ・このような情勢の中、仕方がないと考える。 						
11【園・小・中連携】 教：こども園や真幸地区の小中学校との連携に積極的に取り組んでいるか。	3.6	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止のため本年度も相互参観が難しい状況であった。小中学校間ではリモートによる授業参観で、互いの研究の内容を学ぶことができた。 ・中学生による英語を使った学校紹介ビデオを小学校の外国語の授業で活用した。 ・コロナ対策として、小学校の学習の様子を動画におさめ、こども園に見せるなどの連携もできるのではないか。 	3.3				
			<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会委員から ・With コロナでの対策をお願いします。 					
12【地域との連携】 児：えびの市の様子や施設についての学習で、えびのことがよくわかったか。 教：必要に応じて地域の活動や地域素材を生かした学習に取り組んでいるか。			3.6		3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止に気を付けながら可能な限り実施した。郷土を愛する心を培う上で大切な学習である。 ・えびの市の文化や自然について学習する際、えびの市学校支援地域本部と連携をして地域の方に講師を依頼するなど、地域素材を生かした学習に取り組めた。 	3.5	
			<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会委員から ・えびの学は素晴らしいと思う。 ・イコールキャリア教育としても、やれてよかったと思う。 					

《意見》（保護者の自由記述欄）

【生徒指導部】

- ① 登下校時にヘルメットをかぶっていない子や、通学路以外の道を行き来している子を見かけることがあります。挨拶も自ら進んでできる子は少ない気がします。とても丁寧に自ら挨拶してくれる子もいます。コロナ禍でいろんなことが制限される中、ルールを守っていない家庭がある。（運動会で家族のみとなっていました、明らかに家族ではない友人など。同居家族に濃厚接触者感染の疑いがあっても登校させている、など）みんながルールを守っていても、一人、または一軒、ルールを守っていなければまったく意味がないと思います。コロナ禍で先生方も対応が大変かと思いますが、いつも、担任の先生、担任の先生以外の先生も子どもたちに丁寧に接して下さり、本当に感謝しています。ありがとうございます。
- ② ヘルメットは必要でしょうか？真夏の頭の中はとても暑く、熱中症が心配です。顔を真っ赤にして下校しています。小児科の先生が本当に必要なのか？と言われていました。低学年は前がよく見えていなかったり、SNSなどでおもしろいと写真にとられたり、知らないところで写真などで出回るほうが危険ではないでしょうか。
- ③ 立ち当番をしたときに思ったのですが、中学校前の通りを歩いてくる子供より国道側を歩いてくる子供がとても多かったです。中学校側はスクールゾーンで、車の通りも限られているので、できるだけ安全な道から行けるといいのになあとと思います。
- ④ 横断歩道など渡った時に、礼をする姿は素晴らしいと思います。小学校での教育なのかと思うと、真幸小学校はよいと思います。子どものことでもよく見てくれていて連絡してくれて、先生方の子どもへの思いはありがたいです。勉強は、一人一人理解力など違うので、子ども本人の頑張り次第だと思います。礼儀や人づきあいが学べる小学校だと感じております。

【改善策及び回答】

- ・ヘルメット着用については、えびの市で統一して児童の登下校の安全を確保するため着用している。しかし、夏の酷暑での着用は熱中症の心配もある。本校では、日傘の持参を認めているので、そのことを周知していく。
- ・通学路に関して、学校から道路の指定はしていないので、お子さんに合わせてより安全な通学路をご家庭で検討していただくよう、呼びかけていく。

【学校運営協議会から】

- ・友達同士で丸付けをさせれば向上になると思います。そして、なぜ間違えているかを話し合えば互いに学習できると思う。

【学習部】

- ⑤ 宿題が多いだけでぜんぜん身につけていないです。間違っているところまでちゃんとやり方（答え）を教えてほしいです。コロナ禍になってから勉強に身が入らなくなった。また、なかなかお友達とコミュニケーションが取れにくい中、子どもたちの人間関係などに先生たちが目を向けて不安に思っていること、勉強のこと、いじめ、お友達のことなど、子どもたちが悩んでいることを話す場があればよいのかと思います。
- ⑥ 宿題の量が多く思います。家でもう少しゆっくり過ごす時間を作ってあげたいのですが、宿題に追われていてなかなか時間を作れない感じです。りりたり
- ⑦ 宿題の丸付けが毎日負担です。強制ではなく、無理な方は丸付けをしなくていいのですが、大半の方は丸付けをされているようで、子どもとしては親に丸付けをしてもらったほうがよいという気持ちです。（自分だけ丸付けされていないと恥ずかしさがあったり、居残り等で苦勞する…という気持ちがあるようです。）何か良い方法があればいいのですが。土日だけ丸付けで、親も学習に参加する等、何か対策を考えていただけたら嬉しいです。よろしくお願いします。

【改善策及び回答】

- ・個人差が大きく、家庭学習への取組が難しい児童もいるので、今後も真幸タイムや放課後等の時間を活用して、個別指導や家庭学習の補充を行っていく。

【教務部・全体】

⑧ コロナでいろいろ制限される中、できる範囲でやっていただいております♡

⑨ いつもお世話になります。コロナでとても大変な中、真幸小は行事等の中止や実施の判断が早く、とても的確ですばらしいと感じています。安心して子供を登校させることができます。

⑩ コロナの影響もあり、行事、参観日が少なくなるのは仕方がないが、フリー参観等にすれば分散で参観できると思う。学校の様子もあまりわからず、もう少しお便り、連絡があってもいいのでは…と思います。

⑪ I、IIに関しては本人の形質上の問題であり、学校側・先生がたの取組に問題があつての回答ではありません。いつも気にかけてくださり、学校全体で熱心に向き合ってくださいと感謝しています。

【改善策及び回答】

- ・ 参観日の中止については、県や市の感染状況等を踏まえ、PTA役員と協議して判断しているところである。本年度は県内への緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用があり、保護者の来校を控えていただくため9月と3月の参観日については止やむを得ず中止とした。